

【 8 】 2026 年度 大学院シラバス

<p>専攻分野/コース (英文名)</p>	<p>健康・環境制御医学 ( Assessment of Health and Human Environment )</p>
<p>研究指導教員</p>	<p>高田 礼子</p>
<p>研究 ・ 教育 の 概 略</p>	<p>本コースの教育目標は、1)健康に関わる環境要因の定量的把握と管理方法、2)科学的根拠の作成による保健・医療・福祉政策を理解することにある。</p> <p>1)健康に関わる環境要因の定量的把握と管理方法では、産業保健上問題になる有害要因の実測評価をおこない、評価結果に基づく対策の立案および事後評価について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 産業保健上問題になる有害要因の実測評価ができる。</li> <li>② 有害要因に関する既存の知識の統合ができる。</li> <li>③ 対策の立案ができる。</li> <li>④ 対策に対する事後評価ができる。</li> </ul> <p>2)科学的根拠の作成による保健・医療・福祉政策では、集団としての健康課題の把握をおこない、政策(科学的対策)の提言および事後評価について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 集団としての健康課題の把握ができる。</li> <li>② 健康課題の優先順位の決定ができる。</li> <li>③ 健康課題に関する既存の知識の統合ができる。</li> <li>④ 政策(科学的対策)の提言ができる。</li> <li>⑤ 政策(科学的対策)に対する事後評価ができる。</li> </ul> <p>教育目標にしたがい、事業所や市町村におけるフィールド調査、疫学的データ解析、システムティックレビュー(メタアナリシス)など、必要な知識とスキルを習得して、学位論文を作成する。 また、日本医師会認定産業医、社会医学系専門医等の専門医を取得することをめざす。</p>
<p>研究 項 目</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 産業保健現場(事業所)における健康課題の把握と対策の立案</li> <li>2. 地域保健現場(市町村)における健康課題の把握と対策の立案</li> <li>3. アスベストによる健康被害の実態把握</li> <li>4. リスクアセスメント、リスクマネージメント、リスクコミュニケーション</li> <li>5. システムティックレビュー(メタアナリシス)</li> </ol>
<p>準備 学習 (予習・ 復習)</p>	<p>必修科目、選択科目ともに、各科目の指示通りに、予習と復習を行い、学習内容の理解を深めること。 また各授業内で指示された課題に関する検討および発表準備を行うこと。</p>

## 2026 年度講義シラバス（1）

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学		
講義題目	基本疫学（1）		必修/選択	必修	
担当教員	本橋 隆子	担当教員連絡先	内線 3419		
単位数	1 単位（前期 1）	履修年次	1 年		
テーマと目的	疫学の基本事項を理解する。				
講義計画	疫学の指標と研究デザインを学習する。				
達成目標	疫学の指標を説明できる。 研究デザインを説明できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、知識を整理した上で、課題に関する発表準備を行うこと。 1時間				
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	疫学の知識と手法を理解し、科学的データ収集と解析等を行う能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席Ⓞ)	後期(回)	内 容	(出席Ⓞ)
1	イントロダクション		1		
2	基本知識		2		
3	基本知識		3		
4	基本知識		4		
5	基本知識		5		
6	基本知識		6		
7	応用知識		7		
8	応用知識		8		
9	応用知識		9		
10	応用知識		10		
11	応用知識		11		
12	発表		12		
13	発表		13		
14	発表		14		
15	まとめ		15		

## 2026 年度講義シラバス（2）

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学		
講義題目	基本疫学（2）		必修/選択	必修	
担当教員	本橋 隆子	担当教員連絡先	内線 3419		
単位数	1 単位（前期 1）	履修年次	1 年		
テーマと目的	疫学の研究方法を理解する。				
講義計画	仮説検証のながれを理解し、研究課題にあう研究計画を検討する。				
達成目標	仮説検証のながれを説明できる。 研究課題にあう研究計画を提案できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、知識を整理した上で、課題に関する発表準備を行うこと。 1時間				
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	疫学の知識と手法を理解し、科学的データ収集と解析等を行う能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席Ⓞ)	後期(回)	内 容	(出席Ⓞ)
1	イントロダクション		1		
2	基本知識		2		
3	基本知識		3		
4	基本知識		4		
5	基本知識		5		
6	基本知識		6		
7	応用知識		7		
8	応用知識		8		
9	応用知識		9		
10	応用知識		10		
11	応用知識		11		
12	発表		12		
13	発表		13		
14	発表		14		
15	まとめ		15		

## 2026 年度講義シラバス（3）

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学		
講義題目	分析疫学（1）		必修/選択	必修	
担当教員	高田 礼子	担当教員連絡先	内線 3418		
単位数	1 単位（前期 1）	履修年次	1 年		
テーマと目的	分析疫学の概要を理解する。				
講義計画	分析疫学の目的と方法を学習する。				
達成目標	分析疫学の目的を説明できる。 分析疫学の方法を説明できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、知識を整理した上で、課題に関する発表準備を行うこと。 1時間				
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	疫学の知識と手法を理解し、科学的データ収集と解析等を行う能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1	イントロダクション		1		
2	基本知識		2		
3	基本知識		3		
4	基本知識		4		
5	基本知識		5		
6	基本知識		6		
7	応用知識		7		
8	応用知識		8		
9	応用知識		9		
10	応用知識		10		
11	応用知識		11		
12	発表		12		
13	発表		13		
14	発表		14		
15	まとめ		15		

## 2026 年度講義シラバス（4）

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学	
講義題目	分析疫学（2）		必修/選択	必修
担当教員	高田 礼子	担当教員連絡先	内線 3418	
単位数	1 単位（前期 1）	履修年次	1 年	
テーマと目的	分析疫学の実践を理解する。			
講義計画	分析疫学による仮説検証のながれを理解し、研究課題にあう研究計画を検討する。			
達成目標	分析疫学による仮説検証のながれを説明できる。 研究課題にあう研究計画を提案できる。			
教科書・参考書	別途指示			
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、担当教員とのディスカッションに基づいて、課題に関する検討と発表準備を行うこと。 1時間			
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	疫学の知識と手法を理解し、科学的データ収集と解析等を行う能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容
1	イントロダクション		1	
2	知識確認		2	
3	知識確認		3	
4	知識確認		4	
5	演習		5	
6	演習		6	
7	演習		7	
8	演習		8	
9	演習		9	
10	演習		10	
11	演習		11	
12	発表		12	
13	発表		13	
14	発表		14	
15	まとめ		15	

## 2026 年度講義シラバス（5）

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学		
講義題目	介入疫学（1）		必修/選択	必修	
担当教員	高田 礼子	担当教員連絡先	内線 3418		
単位数	1 単位（後期 1）	履修年次	1 年		
テーマと目的	介入疫学の概要を理解する。				
講義計画	介入疫学の目的と方法を学習する。				
達成目標	介入疫学の目的を説明できる。 介入疫学の方法を説明できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、知識を整理した上で、課題に関する発表準備を行うこと。 1時間				
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	疫学の知識と手法を理解し、科学的データ収集と解析等を行う能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1			1	イントロダクション	
2			2	基本知識	
3			3	基本知識	
4			4	基本知識	
5			5	基本知識	
6			6	基本知識	
7			7	応用知識	
8			8	応用知識	
9			9	応用知識	
10			10	応用知識	
11			11	応用知識	
12			12	発表	
13			13	発表	
14			14	発表	
15			15	まとめ	

## 2026 年度講義シラバス（6）

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学		
講義題目	介入疫学（2）		必修/選択	必修	
担当教員	高田 礼子	担当教員連絡先	内線 3418		
単位数	1 単位（後期 1）	履修年次	1 年		
テーマと目的	介入疫学の実践を理解する。				
講義計画	介入疫学による仮説検証のながれを理解し、研究課題にあう研究計画を検討する。				
達成目標	介入疫学による仮説検証のながれを説明できる。 研究課題にあう研究計画を提案できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、担当教員とのディスカッションに基づいて、課題に関する検討と発表準備を行うこと。 1時間				
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	疫学の知識と手法を理解し、科学的データ収集と解析等を行う能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1			1	イントロダクション	
2			2	知識確認	
3			3	知識確認	
4			4	知識確認	
5			5	演習	
6			6	演習	
7			7	演習	
8			8	演習	
9			9	演習	
10			10	演習	
11			11	演習	
12			12	発表	
13			13	発表	
14			14	発表	
15			15	まとめ	

## 2026 年度講義シラバス (7)

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学	
講義題目	介入疫学 (3)		必修/選択	必修
担当教員	高田 礼子	担当教員連絡先	内線 3418	
単位数	1 単位 (後期 1)	履修年次	1 年	
テーマと目的	無作為化比較対照試験(RCT)を理解する。			
講義計画	臨床的なテーマを設定して、RCT の研究計画を作成する。			
達成目標	RCT の特徴を説明できる。 RCT の研究計画を提案できる。			
教科書・参考書	別途指示			
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、担当教員とのディスカッションに基づいて、課題に関する検討と発表準備を行うこと。 1時間			
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	疫学の知識と手法を理解し、科学的データ収集と解析等を行う能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容
1			1	イントロダクション
2			2	知識確認
3			3	知識確認
4			4	知識確認
5			5	演習
6			6	演習
7			7	演習
8			8	演習
9			9	演習
10			10	演習
11			11	演習
12			12	発表
13			13	発表
14			14	発表
15			15	まとめ

## 2026 年度講義シラバス（8）

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学		
講義題目	メタアナリシス（1）		必修/選択	必修	
担当教員	高田 礼子	担当教員連絡先	内線 3418		
単位数	1 単位（後期 1）	履修年次	1 年		
テーマと目的	メタアナリシスの概要を理解する。				
講義計画	メタアナリシスの目的と方法を学習する。				
達成目標	メタアナリシスの目的を説明できる。 メタアナリシスの方法を説明できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、知識を整理した上で、課題に関する発表準備を行うこと。 1時間				
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	疫学の知識と手法を理解し、科学的データ収集と解析等を行う能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1			1	イントロダクション	
2			2	基本知識	
3			3	基本知識	
4			4	基本知識	
5			5	基本知識	
6			6	基本知識	
7			7	応用知識	
8			8	応用知識	
9			9	応用知識	
10			10	応用知識	
11			11	応用知識	
12			12	発表	
13			13	発表	
14			14	発表	
15			15	まとめ	

## 2026 年度講義シラバス（9）

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学		
講義題目	メタアナリシス（2）実習		必修/選択	必修	
担当教員	高田 礼子	担当教員連絡先	内線 3418		
単位数	1 単位（前期 1）	履修年次	2 年		
テーマと目的	メタアナリシスの実践を理解する。				
講義計画	メタアナリシスによる仮説検証のながれを理解し、研究課題にあう研究計画を検討する。				
達成目標	メタアナリシスによる仮説検証のながれを説明できる。 研究課題にあう研究計画を提案できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、担当教員とのディスカッションに基づいて、課題に関する検討と発表準備を行うこと。2 時間				
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	疫学の知識と手法を理解し、科学的データ収集と解析等を行う能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1	イントロダクション		1		
2	知識確認		2		
3	知識確認		3		
4	知識確認		4		
5	実習		5		
6	実習		6		
7	実習		7		
8	実習		8		
9	実習		9		
10	実習		10		
11	実習		11		
12	発表		12		
13	発表		13		
14	発表		14		
15	まとめ		15		

## 2026 年度講義シラバス（10）

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学		
講義題目	中毒学（1）		必修/選択	必修	
担当教員	人見 敏明	担当教員連絡先	内線 3416		
単位数	1 単位（前期 1）	履修年次	1 年		
テーマと目的	金属中毒を理解する。				
講義計画	金属中毒の病態と生物学的モニタリングを学習する。				
達成目標	金属中毒の病態を説明できる。 生物学的モニタリングを説明できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、知識を整理した上で、課題に関する発表準備を行うこと。 1時間				
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	中毒学に関する知見を理解し、自身の研究を遂行、論述する能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1	イントロダクション		1		
2	基本知識		2		
3	基本知識		3		
4	基本知識		4		
5	基本知識		5		
6	基本知識		6		
7	応用知識		7		
8	応用知識		8		
9	応用知識		9		
10	応用知識		10		
11	応用知識		11		
12	発表		12		
13	発表		13		
14	発表		14		
15	まとめ		15		

## 2026 年度講義シラバス（11）

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学		
講義題目	中毒学（2）		必修/選択	必修	
担当教員	人見 敏明	担当教員連絡先	内線 3416		
単位数	1 単位（前期 1）	履修年次	1 年		
テーマと目的	有機溶剤中毒を理解する。				
講義計画	有機溶剤中毒の病態と生物学的モニタリングを学習する。				
達成目標	有機溶剤中毒の病態を説明できる。 生物学的モニタリングを説明できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、知識を整理した上で、課題に関する発表準備を行うこと。 1時間				
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	中毒学に関する知見を理解し、自身の研究を遂行、論述する能力を習得する				
講義内容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1	イントロダクション		1		
2	基本知識		2		
3	基本知識		3		
4	基本知識		4		
5	基本知識		5		
6	基本知識		6		
7	応用知識		7		
8	応用知識		8		
9	応用知識		9		
10	応用知識		10		
11	応用知識		11		
12	発表		12		
13	発表		13		
14	発表		14		
15	まとめ		15		

## 2026 年度講義シラバス (12)

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学	
講義題目	中毒学 (3)		必修/選択	必修
担当教員	人見 敏明	担当教員連絡先	内線 3416	
単位数	1 単位 (後期 1)	履修年次	1 年	
テーマと目的	化学物質過敏症を理解する。			
講義計画	化学物質過敏症の病態と診断を学習する。			
達成目標	化学物質過敏症の病態を説明できる。 化学物質過敏症の診断を説明できる。			
教科書・参考書	別途指示			
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、知識を整理した上で、課題に関する発表準備を行うこと。 1時間			
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	中毒学に関する知見を理解し、自身の研究を遂行、論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)
1			1	イントロダクション
2			2	基本知識
3			3	基本知識
4			4	基本知識
5			5	基本知識
6			6	基本知識
7			7	応用知識
8			8	応用知識
9			9	応用知識
10			10	応用知識
11			11	応用知識
12			12	発表
13			13	発表
14			14	発表
15			15	まとめ

## 2026 年度講義シラバス ( 1 3 )

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学	
講義題目	中毒学 (4)		必修/選択	必修
担当教員	高田 礼子	担当教員連絡先	内線 3418	
単位数	1 単位 (後期 1)	履修年次	1 年	
テーマと目的	アスベストによる健康被害を理解する。			
講義計画	アスベストによる健康被害の病態と診断を学習する。			
達成目標	アスベストによる健康被害の病態を説明できる。 アスベストによる健康被害の診断を説明できる。			
教科書・参考書	別途指示			
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、知識を整理した上で、課題に関する発表準備を行うこと。 1時間			
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	中毒学に関する知見を理解し、自身の研究を遂行、論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)
1			1	イントロダクション
2			2	基本知識
3			3	基本知識
4			4	基本知識
5			5	基本知識
6			6	基本知識
7			7	応用知識
8			8	応用知識
9			9	応用知識
10			10	応用知識
11			11	応用知識
12			12	発表
13			13	発表
14			14	発表
15			15	まとめ

## 2026 年度講義シラバス（14）

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学		
講義題目	産業医学（1）		必修/選択	必修	
担当教員	高田 礼子	担当教員連絡先	内線 3418		
単位数	1 単位（前期 1）	履修年次	2 年		
テーマと目的	産業医の職務を理解する。				
講義計画	産業医の役割と職場巡視のポイントを学習する。				
達成目標	産業医の役割を説明できる。 職場巡視のポイントを説明できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、知識を整理した上で、課題に関する発表準備を行うこと。 1時間				
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	健康課題の把握と対策の立案に必要な知識と手法を理解し、自身の研究を遂行、論述する能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1	イントロダクション		1		
2	基本知識		2		
3	基本知識		3		
4	基本知識		4		
5	基本知識		5		
6	基本知識		6		
7	応用知識		7		
8	応用知識		8		
9	応用知識		9		
10	応用知識		10		
11	応用知識		11		
12	発表		12		
13	発表		13		
14	発表		14		
15	まとめ		15		

## 2026 年度講義シラバス（15）

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学		
講義題目	産業医学（2）		必修/選択	必修	
担当教員	高田 礼子	担当教員連絡先	内線 3418		
単位数	1 単位（前期 1）	履修年次	2 年		
テーマと目的	産業保健活動を理解する。				
講義計画	産業保健現場における健康課題の把握と対策の立案を学習する。				
達成目標	産業保健現場における健康課題の把握を説明できる。 対策の立案を説明できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、知識を整理した上で、課題に関する発表準備を行うこと。 1時間				
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	健康課題の把握と対策の立案に必要な知識と手法を理解し、自身の研究を遂行、論述する能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1	イントロダクション		1		
2	基本知識		2		
3	基本知識		3		
4	基本知識		4		
5	基本知識		5		
6	基本知識		6		
7	応用知識		7		
8	応用知識		8		
9	応用知識		9		
10	応用知識		10		
11	応用知識		11		
12	発表		12		
13	発表		13		
14	発表		14		
15	まとめ		15		

## 2026 年度講義シラバス（16）

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学		
講義題目	政策科学（1）		必修/選択	必修	
担当教員	本橋 隆子	担当教員連絡先	内線 3419		
単位数	1 単位（後期 1）	履修年次	2 年		
テーマと目的	政策科学の概要を理解する。				
講義計画	集団としての健康課題の把握と優先順位の決定を学習する。				
達成目標	集団としての健康課題の把握を説明できる。 健康課題の優先順位の決定を説明できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、知識を整理した上で、課題に関する発表準備を行うこと。1時間				
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	健康課題の把握と対策の立案に必要な知識と手法を理解し、自身の研究を遂行、論述する能力を習得する				
講義内容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1			1	イントロダクション	
2			2	基本知識	
3			3	基本知識	
4			4	基本知識	
5			5	基本知識	
6			6	基本知識	
7			7	応用知識	
8			8	応用知識	
9			9	応用知識	
10			10	応用知識	
11			11	応用知識	
12			12	発表	
13			13	発表	
14			14	発表	
15			15	まとめ	

## 2026 年度講義シラバス（17）

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学		
講義題目	政策科学（2）		必修/選択	必修	
担当教員	本橋 隆子	担当教員連絡先	内線 3419		
単位数	1 単位（後期 1）	履修年次	2 年		
テーマと目的	政策科学の実践を理解する。				
講義計画	政策科学における PDCA サイクルを理解し、科学的対策を検討する。				
達成目標	政策科学における PDCA サイクルを説明できる。 科学的対策を提言できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、担当教員とのディスカッションに基づいて、課題に関する検討と発表準備を行うこと。 1時間				
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	健康課題の把握と対策の立案に必要な知識と手法を理解し、自身の研究を遂行、論述する能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1			1	イントロダクション	
2			2	知識確認	
3			3	知識確認	
4			4	知識確認	
5			5	演習	
6			6	演習	
7			7	演習	
8			8	演習	
9			9	演習	
10			10	演習	
11			11	演習	
12			12	発表	
13			13	発表	
14			14	発表	
15			15	まとめ	

## 2026 年度講義シラバス ( 1 8 )

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学	
講義題目	政策科学 (3)		必修/選択	必修
担当教員	本橋 隆子	担当教員連絡先	内線 3419	
単位数	1 単位 (後期 1)	履修年次	2 年	
テーマと目的	地域保健現場における政策科学の応用を理解する。			
講義計画	地域の優先的健康課題の抽出と政策(科学的対策)の提言を学習する。			
達成目標	地域の優先的健康課題の抽出を説明できる。 政策(科学的対策)の提言を説明できる。			
教科書・参考書	別途指示			
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、担当教員とのディスカッションに基づいて、課題に関する検討と発表準備を行うこと。 1時間			
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	健康課題の把握と対策の立案に必要な知識と手法を理解し、自身の研究を遂行、論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容
1			1	イントロダクション
2			2	知識確認
3			3	知識確認
4			4	知識確認
5			5	演習
6			6	演習
7			7	演習
8			8	演習
9			9	演習
10			10	演習
11			11	演習
12			12	発表
13			13	発表
14			14	発表
15			15	まとめ

## 2026 年度講義シラバス (19)

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学		
講義題目	環境リスク (1)		必修/選択	必修	
担当教員	高田 礼子	担当教員連絡先	内線 3418		
単位数	1 単位 (前期 1)	履修年次	2 年		
テーマと目的	環境リスクのリスクアセスメントを理解する。				
講義計画	リスクアセスメントの目的と方法を学習する。				
達成目標	リスクアセスメントの目的を説明できる。 リスクアセスメントの方法を説明できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、知識を整理した上で、課題に関する発表準備を行うこと。 1時間				
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	環境リスクの評価・対策手法を理解し、自身の研究を遂行、論述する能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1	イントロダクション		1		
2	基本知識		2		
3	基本知識		3		
4	基本知識		4		
5	基本知識		5		
6	基本知識		6		
7	応用知識		7		
8	応用知識		8		
9	応用知識		9		
10	応用知識		10		
11	応用知識		11		
12	発表		12		
13	発表		13		
14	発表		14		
15	まとめ		15		

## 2026 年度講義シラバス（20）

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学	
講義題目	環境リスク（2）		必修/選択	必修
担当教員	高田 礼子	担当教員連絡先	内線 3418	
単位数	1 単位（後期 1）	履修年次	2 年	
テーマと目的	環境リスクのリスクマネージメントを理解する。			
講義計画	リスクマネージメントの目的と方法を学習する。			
達成目標	リスクマネージメントの目的を説明できる。 リスクマネージメントの方法を説明できる。			
教科書・参考書	別途指示			
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、知識を整理した上で、課題に関する発表準備を行うこと。 1時間			
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	環境リスクの評価・対策手法を理解し、自身の研究を遂行、論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容
				(出席◎)
1			1	イントロダクション
2			2	基本知識
3			3	基本知識
4			4	基本知識
5			5	基本知識
6			6	基本知識
7			7	応用知識
8			8	応用知識
9			9	応用知識
10			10	応用知識
11			11	応用知識
12			12	発表
13			13	発表
14			14	発表
15			15	まとめ

## 2026 年度講義シラバス（21）

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学		
講義題目	環境リスク（3）		必修/選択	必修	
担当教員	高田 礼子	担当教員連絡先	内線 3418		
単位数	1 単位（後期 1）	履修年次	2 年		
テーマと目的	環境リスクのリスクコミュニケーションを理解する。				
講義計画	リスクコミュニケーションの目的と方法を学習する。				
達成目標	リスクコミュニケーションの目的を説明できる。 リスクコミュニケーションの方法を説明できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	参考書や配布資料等の内容を確認し、知識を整理した上で、課題に関する発表準備を行うこと。 1時間				
成績評価法	出席と受講態度、発表内容から総合的に評価する				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	環境リスクの評価・対策手法を理解し、自身の研究を遂行、論述する能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1			1	イントロダクション	
2			2	基本知識	
3			3	基本知識	
4			4	基本知識	
5			5	基本知識	
6			6	基本知識	
7			7	応用知識	
8			8	応用知識	
9			9	応用知識	
10			10	応用知識	
11			11	応用知識	
12			12	発表	
13			13	発表	
14			14	発表	
15			15	まとめ	

## 2026 年度講義シラバス ( 2 2 )

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学		
講義題目	総合診療診断学 I (基礎編) (プライマリケア診断学 I (基礎編))		必修/選択	選択	
担当教員	大平 善之	担当教員連絡先	内線 3639、4850		
単位数	2 単位 (前期 1・後期 1)	履修年次	1 年		
テーマと目的	プライマリケアに必要な医療面接、身体所見、一般検査の意義を習得する。				
講義計画	医療面接、基本的な身体所見、一般検査について詳述する。				
達成目標	医療面接で得られた情報に加え、正確な身体所見がとれ、必要な一般検査を選択し、その検査結果を正しく評価できる。				
教科書・参考書	「総合診療」中山書店、「家庭医・プライマリケア医入門」プリメド社、 「根拠に基づく医療 Evidence-Based MEDICINE」オーシーシー(株)				
準備学習(予習・復習・時間)	Primary Care Medicine (Aller H.Goroll)を用いて、各講義に合わせて予習すること。 1時間				
成績評価法	課題に関する発表と質疑				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	プライマリケアの知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する				
講義内容					
前期(回)	内 容	(出席Ⓜ)	後期(回)	内 容	(出席Ⓜ)
1	医療面接 ①		1	身体所見 ②	
2	医療面接 ②		2	身体所見 ③	
3	医療面接 ③		3	身体所見 ④	
4	病歴のとりかた ①		4	身体所見 ⑤	
5	病歴のとりかた ②		5	一般検査 ①	
6	病歴のとりかた ③		6	一般検査 ②	
7	バイタルサイン ①		7	一般検査 ③	
8	バイタルサイン ②		8	一般検査 ④	
9	バイタルサイン ③		9	一般検査 ⑤	
10	全身状態 ①		10	心電図 ①	
11	全身状態 ②		11	心電図 ②	
12	全身状態 ③		12	症候よりみた鑑別診断 ①	
13	精神状態 ①		13	症候よりみた鑑別診断 ②	
14	精神状態 ②		14	症候よりみた鑑別診断 ③	
15	身体所見 ①		15	症候よりみた鑑別診断 ④	

## 2026 年度講義シラバス ( 2 3 )

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学	
講義題目	救急初療 症候学 I		必修/選択	選択
担当教員	藤谷 茂樹	担当教員連絡先	内線 3931	
単位数	2 単位 (前期 1・後期 1)	履修年次	1 年	
テーマと目的	救急領域でよく遭遇する症候について学ぶ			
講義計画	下記に示した各症候について講義する			
達成目標	各症候の認識の仕方、その診断学的意義を理解する 各症候に応じた診断学的プロセスと判断、そして治療が実施できる			
教科書・参考書	別途指示			
準備学習(予習・復習・時間)	救急外来 ER でよく遭遇する症候に対して、鑑別診断をあげ、診断にいたる身体所見や必要な検査について学ぶ。 救急診療指針 (るす出版)、内科診断学などを参考図書とすえる。 1時間			
成績評価法	出席と講義中の討論内容から総合的に評価する			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	救急医学の最新の知見に基づいて、自身の研究を遂行し論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席Ⓞ)	後期(回)	内 容 (出席Ⓞ)
1	ショック 1		1	胸痛・動悸 2
2	ショック 2		2	要背部痛 1
3	意識障害 1		3	要背部痛 2
4	意識障害 2		4	喀血 1
5	失神 1		5	喀血 2
6	失神 2		6	吐下血 1
7	めまい 1		7	吐下血 2
8	めまい 2		8	腹痛・嘔吐下痢 1
9	頭痛 1		9	腹痛・嘔吐下痢 2
10	頭痛 2		10	黄疸・出血傾向 1
11	痙攣 1		11	黄疸・出血傾向 2
12	痙攣 1		12	運動麻痺 1
13	呼吸困難 1		13	運動麻痺 2
14	呼吸困難 2		14	精神症状 1
15	胸痛・動悸 1		15	精神症状 2

## 2026 年度講義シラバス ( 2 4 )

講義コード	※	専攻分野	健康・環境制御医学	
講義題目	救急初療 症候学 II		必修/選択	選択
担当教員	藤谷 茂樹	担当教員連絡先	内線 3931	
単位数	2 単位 (前期 1・後期 1)	履修年次	2 年	
テーマと目的	救急領域でよく遭遇する症候について学ぶ			
講義計画	下記に示した各症候について講義する			
達成目標	各症候の認識の仕方、その診断学的意義を理解する 各症候に応じた診断学的プロセスと判断、そして治療が実施できる			
教科書・参考書	別途指示			
準備学習(予習・復習・時間)	救急外来 ER で良く遭遇する (common) な症候に対する、診断プロセスと対応について学ぶ。 1時間			
成績評価法	出席と講義中の討論内容から総合的に評価する			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	救急医学の最新の知見に基づいて、自身の研究を遂行し論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)
1	ショック 1		1	黄疸 2
2	ショック 2		2	乏尿・尿閉 1
3	不整脈 1		3	乏尿・尿閉 2
4	不整脈 2		4	頻尿・血尿 1
5	悪心、嘔吐 1		5	頻尿・血尿 2
6	悪心、嘔吐 2		6	脱水 1
7	吃逆 1		7	脱水 2
8	吃逆 2		8	浮腫 1
9	腹痛 1		9	浮腫 2
10	腹痛 2		10	発疹 1
11	吐血 1		11	発疹 2
12	吐血 2		12	出血傾向 1
13	下痢・便秘 1		13	腰痛
14	下痢・便秘 2		14	関節痛
15	黄疸 1		15	鼻出血